

# ○ ショウマ（升麻）

## 語源

サラシナショウマ属 *Cimicifuga* は、cimex キーメクス「トコジラミ」+ fugo フゴー「追う、追い出す、追い払う」から。これは、ショウマ (*Cimicifuga foetida*) の悪臭がひどく、虫さえ逃げることから、もしくは実際に虫よけに用いられたことに由来する。サラシナショウマの種小名の *simplex* とは、ラテン語で「単一の、無分岐の」の意。茎に対して、単一の花序をもつためと考えられる。一方、和名サラシナショウマの「サラシナ」とは漢字で「晒菜」。若い葉を煮て水で晒して食用にしたことに由来する。

## 基原

*Cimicifuga simplex* サラシナショウマ

〔中国植物名・生薬名〕 単穂升麻

*C. dahurica* フブキショウマ

〔中国植物名〕 興安升麻 〔中国生薬名〕 北升麻

*C. foetida* コウライショウマ

〔中国植物名〕 升麻 〔中国生薬名〕 升麻、川升麻、西升麻

*C. heracleifolia* オオミツバショウマ

〔中国植物名〕 大三葉升麻 〔中国生薬名〕 関升麻

キンポウゲ科 多年生草本



photo by Aka CC-BY-SA, from Wikimedia Commons

## 薬用部分

根茎

## 産地

中国（黒竜江、吉林、遼寧、河北、四川）など

かつては日本産のサラシナショウマも用いられていたが、現在市場性はない。

## 主な成分

トリテルペノイドのシミゲノール類やその配糖体、クロモン誘導体のシミフギン、ケロール、アミオール、フェノールカルボン酸のカフェ酸、ステロイドのシトステロールなど



## 主な薬効

解熱、鎮痛、抗浮腫、肛門部炎症抑制

## 代表的処方

漢方では、根茎を解熱、解毒薬として、また脱肛、子宮脱に用いられてきた。痔疾用薬とみなされる処方などにも配合される。

## 【乙字湯】

オツジトウ

痔の疼痛、出血、便秘気味、婦人の陰部搔痒（トリコモナスによらないもの）、痔核（いぼ痔）、切れ痔、精神不安、頭重、脱肛に用いる。

（処方内容） 当帰／柴胡／黄芩／甘草／升麻／大黄

## 【升麻葛根湯】

ショウマカクコントウ

感冒の初期、皮膚炎、麻疹の初期に用いる。

（処方内容） 葛根／芍薬／升麻／甘草／生姜

## 文献報告

### 【抗炎症】

生薬「升麻」の薬理学的研究(第2報)：サラシナショウマの抗炎症作用

Yakugaku Zasshi, 1977, 97, 911-5

### 【血管拡張】

Vasoactive Effects of Cimicifugic Acids C and D, and Fukinolic Acid in Cimicifuga Rhizome

Biol. Pharm. Bull, 1998, 21, 1163-8

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「漢方のくすりの事典」「和漢薬の事典」「日本薬草全書」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力

福田龍株式会社

（お問い合わせ） 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL：06-6364-5861 FAX：06-6364-6562

URL：www.fukudaryu.co.jp